

星槎大学 特別講義「世界の今を見る」 スケジュール表

回	日付	時間	講師（サブ・タイトル）	略歴	写真
第1回	6月26日(土)	午前	星槎大学 教授 伊藤 玄二郎 （世界の常識・非常識－自分史50年に見る世界の今昔）	エッセイスト、大学教授。鎌倉ペンクラブ会長。かまくら春秋社代表。 著書に『風のかたみ』（朝日新聞社）、『末座の幸福』（小学館）、 『子どもに伝えたい日本の名作』『氷川丸ものがたり』（かまくら春秋社）など多数。	
		午後	神田外語大学学長 宮内 孝久 （「どうにも止まらない！“加速度的に変化する世界の中で我々は生きていかなばならない”」）	幼少時代にシュバイツァー博士を尊敬し医師を目指したが受験に失敗し商社マンとなる。バブル崩壊から敗北の平成30年間を経ても、未だに「Japan as No One」の栄華の夢を引き摺る日本を反省し、若者を鍛えたいと教育畑に転ずる。元三菱商事代表取締役副社長、現在神田外語大学長。国連UNHCR協会理事。元横浜市教育委員。	
第2回	7月3日(土)	午前	東洋文庫専務理事 杉浦 康之 （アメリカという国を少し掘り下げて考えてみよう！）	公益財団法人東洋文庫 専務理事、ハーバード大学アジアセンター国際諮問委員 シュワルツマン・スカラーズ・プログラム（清華大学MBAプログラム）選考委員 北米三菱商事 元社長米国駐在5回、在米約15年	
		午後	元東京大学北京代表所長 宮内 雄史 （人材に見る中国の動向と将来）	シンガポール・南洋大学で中国語研修。三菱商事駐在員として北京に2回、上海に1回勤務。 定年退職後、東京大学北京代表所長として8年間北京に滞在。 現在NPO法人・国際社会貢献センター所属。	
第3回	7月10日(土)	午前	CEO, Komiya Associates LLC 古宮 正隆 （アジアと日本-インドネシアを中心に-）	三菱商事に50年勤務、内インドネシアを34年担当、内インドネシアに3度15年勤務（インドネシア大学文学部・経済学部・社会科学部政治学科留学を含む）、米州課長・リーダーを8年、会長業務秘書を2年、上海に3年勤務、早稲田大学アジア太平洋研究センター特別研究員、財務省インドネシア研究会委員、経済産業省経済産業研究所「中国の台頭と東アジア地域秩序の変容」研究会委員、日本インドネシア協会理事等を歴任。(株)海外交通・都市開発事業支援機構 特別アドバイザー。	
		午後	元立命館インドオフィス所長 秦 智 （インドと日本）	デリー大学・クルクシェートラ大学での語学研修、コルカタ、ニューデリー駐在でインド勤務11年。 三菱商事早期退職後、在米イリノイ大学大学院で日本語教授法を学び、在印バンガロール大学、私立小中高一貫校及び在日インド人学校や企業等で日本語教育に携わってきた。2011-14年、立命館インド・オフィス（在ニューデリー）で日印学術交流事業に携わる。	
第4回	11月6日(土)	午前	ドイツ・ブレーメン経済工科大学 客員教授、日独協会理事 佐藤 勝彦 （ヨーロッパとは何か？）	ドイツ・ブレーメン経済工科大学客員教授。日独協会理事。 学生時代一年休学ドイツに遊学した欧州派、特にドイツマニア。スイス、ドイツ2度、英国に通算12年間駐在。ベルリンの壁崩壊後、1990年には年間約200日東欧各国を巡りビジネスチャンスを探す。 三菱商事退職後大学教員。長年学生の欧州でのインターンシップに注力。	
		午後	中堅・中小企業関係アフリカ支援パートナー（アドバイザー） 小西 悟 （最後のフンティア・アフリカとの出会い）	約四半世紀にわたるアフリカ駐在。 1988年～1993年三菱商事子会社（自動車本部）ザンビア自動車子会社へ出向。 1999年～2013年ヨハネスブルグ支店に連続14年間駐在。 2015年～2017年 JICA派遣ザンビア投資局アドバイザー（在ザンビア）。 2017年～2018年 南アフリカ・プジョー・シトロエン会長（在南アフリカ）。	
第5回	11月13日(土)	午前	株式会社安藤公秀代表取締役 安藤 公秀 （中東？イスラーム？ちょっとだけ身近に感じてみよう）	エジプト、イラク、サウジアラビア、マレーシア、インドネシア、そして二度のパキスタンと合計27年間、全てイスラム圏で三菱商事人生の2/3以上を過ごす。2018年、パキスタンが外国籍民間人に与える最高勲等「パキスタンの星」を受勲	
		午後	ラテンアメリカ協会理事 工藤 章 （ラテンアメリカとの関係強化に日本が出来ること）	ラテンアメリカ協会・理事、日本腹話術師協会・相談役 ラテンアメリカでのビジネスに45年間従事、チリ・ベネズエラ・ブラジルに通算22年間駐在。三菱商事中南米総代表、ブラジル日本商工会議所会長、などを歴任したラテンアメリカのエキスパート。共著：『中南米が日本を追い抜く日』（朝日新書）、『チリを知るための60章』（明石書店）	